

和裁の部2位

技能グランプリ 二瓶さん (別府勤務)

全国の熟練技能士が技能を競い合う「第27回技能グランプリ」(2月22～25日、千葉市幕張メッセ)で、別府市南立石一区の梶原和裁で働く和裁師・二瓶奈々さん(28)＝大分市高城南町＝が和裁の部で2位に入賞した。二瓶さんは「2度目の挑戦で、前回は入賞もできなかった。今回は2位という結果でも驚いています」と喜んだ。

挑戦2度目「次は1位を」



技能グランプリで2位に入賞した二瓶奈々さん

大会は、厚労省と中央職業能力開発協会などの主催。30の職種で実施され、大分県からは三つの職種に5人が参加した。和裁の競技課題は2日間計9時間かけて、規定の「付け下げ女子用裕長着」を縫製するというもの。寸法や縫い目、縫い合わせた生地 of 絵柄が合っているか、などの仕上がり具合を審査する。和裁の部には全国から28

人が挑んだ。

小学生の頃から裁縫が好きで、縫いぐるみなどを独学で作っていたという二瓶さんは、高校3年の時に和裁技能士国家検定3級に合格。高校を卒業後、梶原和裁に通うようになり、和裁の腕を磨き、2010年には1級になった。これまでも全国的な大会で入賞経験がある。

二瓶さんは「次の大会に向けて1位を目指し練習に励んでいきたい。また、後輩の育成にも力を入れていきたい」と話している。(成清友香)